



安心して子育て できるまちを 力をあわせて とりもどそう!

やっぱりこの地域に〇〇※ 住吉市民病院が必要やった!

70年にわたって市民に親しまれ、
地域医療を支え続けてきた住吉市
民病院(住之江区)が、維新に「二重
行政のムダ」とレッテルを貼られ、閉
鎖されて1年。気軽に入院できる市
民病院が無くなる一方、その患者を
受け入れるとした府立急性期C(住吉
区)には「気軽に行けない」「受け入
れてもらえなかった」など、さまざ
まな不安の声が寄せられています。



「住吉市民病院閉鎖から1年。地域の要となっていた病院は府と市の二重行政解消の名目で、府立病院と統合。かかりつけの病院を失った地元住民の不安の声を紹介」MBS VOICE (2019年3月5日)

住吉区・府立急性期Cで 受け入れてもらえず

2月に1歳の長女が排泄の時に出血し高熱をだしました。
救急病院で精密検査が必要と診断され、かかりつけの
府立急性期Cに問い合わせてもらいましたが
「小児のベッドが満床」と断られ、北区の病院に5日間入院。
自宅から遠いため一時帰宅もできませんでした。
住吉市民病院がなくなり、なにかあった時に確実に
入院できる病院がないのがすごく不安です。
(37歳・1児の母・西成区在住)

移動中に出産

昨年6月、息子の嫁が府立急性期Cで出産予定でした。
予定より早く自宅で破水し、自家用車で移動中に
救急車が駆けつけ車内で出産することになりました。
無事出産できましたが、大変不安でした。
(女性・住之江区在住)

住吉市民病院閉鎖から1年 住民の不安の声

身近なところに気軽に 入院できる病院を

子どもはすぐ体調を崩します。
今この地域に必要なのは、
発熱や下痢など、ちょっとしたことでも
2、3日入院をさせてくれる病院です。
(小児科医師・西成区)

入院できずに不安な一夜を

孫が熱性けいれんで目をむいて意識を失い、
救急車で府立急性期Cに運ばれましたが、受付で
意識が戻ると、「また痙攣が起きたらきなさい」と
帰され、不安な一夜を過ごしました。
「市民病院なら入院させてくれ安心できたのに」と、
今後は不安になりました。
(女性・住之江区在住)



東西のアクセスが
深刻な地域です。

住之江区から府立急性期Cへの直通
バス路線は1つしかありません。便
数も少なく大変混雑する時もありま
す。また、間に南海高野線や阪堺線の
踏切があり、交通渋滞が起こります。
だからこそ、市民病院跡地に小児科
も産科もベッドが必要です。



長居公園通りを横断する南海高野線の踏切 ▶



「大阪市をよくなる会」機関紙
2019年 3月20日 第421号
大阪市をよくなる会の見解をお知らせします

〒530-0041 大阪市北区天神橋1-13-15 大阪グリーン会館3階
TEL (06) 6357-6139 FAX (06) 6357-5303
HP: <http://www.yokosurukai.com> Mail: yokosurukai@nifty.com

大阪市をよくなる会は、大商連、大阪労連、民医連、
新婦人、共産党、障連協、大生連、大借連、民青、
民権連、年金者組合などで構成されています。

明るい民主大阪
府政をつくる会
LINE@

